

## 留学生就職促進プログラム 進捗確認所見

大学名：神戸大学

### ○「留学生就職促進プログラム委員会」における所見

#### 1. 全体の進捗状況、取組と就職率向上の見通し

- 一部計画を下回る取組がある。
  - キャリアセンター内に「神戸グローバル人材育成プログラム」が設置された。
  - コロナ禍の影響があるとはいえ、令和3年度の国内就職率が令和2年度より減少しており、計画数に及んでいない。また令和4年度の国内就職率50%という実績見込みは令和3年度の実績から大きく数値が離れているので、どのように算出されたのか根拠を明示されたい。

#### 2. プログラムの内容の進捗状況

- 一部計画を下回る取組がある。
  - ビジネス日本語教育について：  
キャリアセンターとプログラム担当教員との広報連携強化により、受講者数が増加し、質の高い日本語教育プログラムを拡充させたことは、就職率を上昇させる一助となっている。日本語能力習得状況については、現状把握を行い、課題としていたオンデマンド動画の制作に取り組んでいる。
  - キャリア教育について：  
理系留学生向けキャリア教育の動画や日本語・英語・中国語によるキャリア教育動画（計40本）が納品されたことに加え、セミナー動画も公開する等、オンラインを利用した取組が有益である。全般的に学内連携も進み、概ね順調に進捗している。課題としていた理系学生の参加者数については推移を確認したい。
  - インターンシップについて：  
課題であった長期インターンシップの参加者数は、計画値を大きく下回っている。期間の問題なのか、有償・無償の是非なのか、原因を特定し参加者を増やす工夫・取組が必要である。また、研究インターンシップの参加者数が少ないことも引き続き課題である。神戸という立地も活かし、今後の課題解決に向けた具体的な方策に期待する。

#### 3. 実施体制の構築、活動状況

- 一部計画を下回る取組がある。
  - 地元経済団体等と連携し、近隣大学の学生も参加できる就職セミナー等を開催し、自大学だけでない留学生全体の就職支援を行っている点は評価できる。一方で、留学生の受入れ経験がない企業に対する支援が効果的に行われていない。
  - コーディネーターとして雇用予定であった特命助教2名のうち、1名を特命助手に変更したとのことだが、どのような理由で変更したのか確認したい。また、特命助教・特命助手が実働の多くを担っており、事業期間終了後の運営の見通しを確認したい。加えて、コーディネーターの役割や取組が明確になっていないため、改善を期待する。
  - 事業期間終了後の見通しについて、自律的活動体制を整えるとの記述に留まっており、具体的な内容が乏しい。

#### 4. 他大学が参考にできる事項等

- 英語コースの留学生向けにも、企業との交流会やセミナーを開催している点。
- 留学生が日本語能力を向上させるために、通常の講義以外に動画を作成し、自学自習できる環境を整備しつつあること。
- 優れた事例として提示されている工学研究科・博士課程前期2年生（カンボジア出身）の事例で得た知見は他大学における留学生支援の参考となる。